

## 「自然」うるおう

基本目標

## 08 豊かな自然を守り、水と緑に癒されるまち

## 水や緑など自然にふれあうまちづくり

## 公園・緑地の整備

- 北薩広域公園「歴史ゾーン」の実施設設計が着手されたことから、今後も早期整備が行われるよう、県や国へ要望します。
- 緑地や公園の整備、公共施設や道路沿道の緑化に努め、町民の緑化活動を支援します。
- 安全で健康的なレジャーとしてキャンプが注目される中、キャンプ施設や自然とふれあえる公園施設とその周辺整備について、地域やボランティア団体などが連携した緑化・美化活動を推進し、町内施設の利用率向上を図ります。



## 親水護岸施設的环境整備

- 地元団体などとの連携による清掃や除草等の管理に加え、川内川河川事務所や鹿児島県地域振興公社との連携による水辺公園施設などの管理を行い、水辺環境の整備に努めます。

## 野生動植物の生息・生育環境の保全

- 天然記念物や絶滅のおそれがある野生動植物などについて、保護対策と適切な管理の啓発を図ります。

基本目標

## 09 ふるさつを見直し、資源を大切にすまち

## 循環型社会形成を推進するまちづくり

## ごみ減量化及び資源化の推進

- 町衛生自治団体連合会の研修や出前講座、広報紙などでの啓発により、廃棄物の発生抑制（リデュース）、部品などの再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3R運動を推進します。
- 家庭ごみの減量化、資源化を促進するため、地域や企業などと連携したごみ出しルールの周知啓発を積極的に行い、外国人を含めた地域ぐるみでごみの分別に対する意識の醸成に努めます。

## 廃棄物処理施設の長寿命化対策の推進

- 生ごみの分別収集と堆肥化リサイクルなどの推進によりごみの減量化を図り、町が管理するクリーンセンターへの負荷軽減に努め、効率的な廃棄物の収集・運搬、クリーンセンターの適切な維持管理に努めます。



## 環境美化に積極的なまちづくり

## 環境教育・環境学習の推進

- 可燃ごみ、資源ごみ袋にQRコードを記載し、ごみの分別方法の周知啓発に努めます。
- 多言語電子配信ソフトを使い、外国語表示のごみの分け方・出し方について外国人へ情報提供を図ります。また、広報紙やホームページなどを活用し、環境に関する情報を適切に提供します。



## 第2次さつま町

## 総合振興計画

## 後期基本計画の概要をお知らせします

04

まちの将来像

## ひと・まち・自然 みんなで紡ぐ さつま町

総合振興計画では、まちの将来像を実現するため、まちづくりの姿勢と「ひと」「まち」「自然」の3つの基本方針ごとに基本目標を立て、分野別に基本施策を定めて今後の方向性を示しています。第2次さつま町総合振興計画後期基本計画について、最後となる今月は「基本方針3-『自然』うるおう」を紹介します。

詳しくは町ホームページへ▶



## 「自然」うるおう

基本目標

## 08 豊かな自然を守り、水と緑に癒されるまち

## 自然と調和した暮らしと環境を守るまちづくり

## 美しい景観の継承

- 美しい景観の特色を活かせるよう、景観や環境美化への住民の関心をより高め、地域や事業者などと連携を図りつつ、自然や歴史、文化が豊かに息づく景観を生み出し、育てます。

## 水辺環境保全の推進

- 汲み取りや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換をさらに推進し、生活雑排水が自然環境に与える影響を最小限に抑える取組を推進します。

## 地球環境保全の推進

- 脱炭素社会の実現を目指す2050年カーボンニュートラルに向けて、太陽光発電をはじめ、バイオマス発電、小水力発電、風力発電などの様々な再生可能エネルギーの導入の可能性について検討します。さらに、温室効果ガス排出の低減対策の普及や地球環境に負荷の少ない持続可能な社会システムの構築を図り、発電事業者や地域関係者の相互の連携のもと、地域活力の向上に向けた持続的な取組を推進します。

## 公害防止対策の充実

- 警察や保健所、環境美化推進員との協力体制を強化することで公害防止に努めます。

